

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	玄関の施錠は身体拘束に当てはまるので施錠しない時間帯を検討してはいかがか。	玄関の開錠ができる時間帯を作れるよう努力する。	スタッフ間で玄関の開錠が可能な時間帯やそのための環境整備について話し合う。	2ヶ月
2	35	いざという時に利用者、職員の生命を守るため、自主訓練の回数を重ね、避難技術を身に付ける取り組みをしてみたいかがか。	災害時に職員と利用者が安全に避難できるように、定期的に自主訓練を行う。	避難の自主訓練を行う日を決めて、毎月、定期的に行う。	1ヶ月
3	45	毎日入浴できることを情報として提供し、入る、入らないを利用者が選択する機会を作ってみてはいかがか。	利用者が入浴するかどうか自己選択できるようにする。	入浴人数が多くなりすぎた場合等の対応を検討したうえで、各利用者に毎日、入浴するかどうか確認する。	2ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。